

五郎丸一考

ラグビー日本代表チームが朝日スポーツ賞を受賞した。

昨秋のW杯、強豪南アフリカ戦の勝利は、スポーツ史上に残る大金星と言われた。

スポーツ界には番狂わせというのがある。実力的に下位の者が上位の者に勝つことだ。

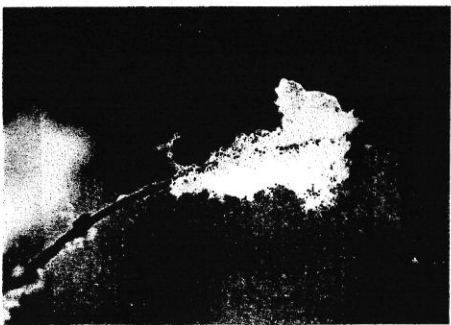
どうしてこのようないことが起こるのだろうか。

要因はいろいろあるだろうが、番狂わせとは決して偶然の産物ではないということだ。

たとえ実力的に劣っていたとしても本番に向けて用意周到に心と技と体の準備がなされていたからこそ起こるものなのだ。

昨年度、流行語大賞にも選ばれた「五郎丸(赤木)」

「ゴールキックの際、体を少し前かがみにして人差し指を立て、両手を合わせるポーズは、プレーの精度を上げる集中法の一つだという。」



何か祈りを捧げているようにも見えることから「お祈りポーズ」とも言われている。

しかし私には神に訴がるような一念さよりも、相手を打ち負かすチャンス到来とばかりにしたたかに獲物をねらう「シューティングポーズ」のように見えてくる。

今年もリオ五輪、どんな状況下にあっても前を向く日本人選手の姿を見たものだ。

にまりん
村野四郎

福二平

校長室

だより

ほたる草

平成二十八年二月五日(公)

No.87

悲しいと云
まじいとき
ぼくはいつも
こころをかたく
にぎりしめる
すく
悲しいやまは
みえなほくら
にけてゆく